



■ 視点場

一関市本寺地区

■ 視対象

山裾に連続する屋敷地

■ 選んだ理由

山裾のやや高い位置や平野部の中の微高地は屋敷が点在し、イグネに囲まれた伝統的な屋敷構えを良く留め、里と里山の連続性を保ちつつ、耕作地の拡大を図ってきた。